

簡易発明届出書

提出日

発明者氏名

印

私 / 私達は、下記発明について、日本及び外国において特許を受ける権利を、
株式会社に譲渡します。

1．発明の名称

ポイント贈与サービス

2．発明の分野

商品等の購入に対してポイントを与えるサービス

3．発明の効果

そのビジネス手法に、どのようなメリットがあるのかを書いて下さい。従来の手法と比べてのメリットを書いて下さい。（例：消費者の注目を集めやすい広告システムを実現できる）

店舗にとっては、ポイント贈与先の顧客を新規顧客として獲得することができるというメリットを得ることができる。

4．効果をもたらした工夫

上記のメリットを得るために採用した手法・仕組みの特徴を書いて下さい。（例：広告を見てアンケートに答えた消費者に対して現金を支払うようにした）

購入した本人だけでなく、他人にポイントを贈与できるようにした。

5．従来の手法

類似する従来の手法を説明して下さい。（例：従来は、バナーによって広告をしていた。しかし、ユーザは興味を持ってバナー広告を見られなかった。）

購入金額に応じた報酬ポイントを与え、商品購入金額の一部としてポイントを使用できるサービスが実施されている。このサービスにより、商店は一度来店した顧客を再度来店させるようにし、顧客のリピータ化（固定客化）を図っている。

しかし、このポイントサービスは、一度来店した顧客を固定化できる点において有効であるが、新規顧客の開拓という観点からは大きな力を発揮するものではなかった。

6．発明の実施形態

システムの全体図を添付して、ビジネスモデルを説明してください。

図1にシステムの全体を示す。

顧客パソコン2から販売サーバ4にアクセスし、商品購入の申込をする。この時、ポイントの贈与先（顧客B）も指定する。

販売サーバ4は、購入金額に応じて顧客Aのポイントを計算して記録する。さらに、贈与先として指定された顧客Bに贈与するポイントを計算して記録する。

販売サーバ4は、指定された顧客Bのパソコン6に対し、ポイントが贈与されたことを通知するメールを送信する。そのメールには、現在のポイントで購入可能な商品リストを表示する。

ビジネスモデルの全体システム図

